



# SAEKI

第47号

令和4年(2022年)  
10月発行

佐伯区スポーツ推進委員協議会  
会長 宮本 隆

五日市中央

五日市

五日市東

五日市南

楽々園

藤の木

彩が丘

湯来

五日市中央 五日市 東 五日市東 五日市南 楽々園 藤の木 彩が丘 湯来

ニュースポーツの普及目的で毎年リーダー研修が行われており、市内8区が持ち回りで担当になり、各区より6名から8名のリーダーを招集して研修会を開催しています。

2年ぶりに開催されるリーダー研修会に向けて、佐伯区スポーツ推進委員約30名が参加し、「インドアモルック」の事前研修会を行いました。

本来であれば2年前に佐伯区スポーツ推進委員が講師としてリーダー研修を行う予定でしたが、新型コロナウィルスの影響で延期、延期となり現在に至ります。

そして、待ちに待つたリーダー研修の担当がようやく佐伯区に回ってきました。

会を行いま  
した。

会を行いま  
した。



広島市スポーツ推進委員協議会では「ニュースポーツ」の普及目的で毎年リーダー研修が行われており、市内8区が持ち回りで担当になり、各区より6名から8名のリーダーを招集して研修会を開催しています。

2年ぶりに開催されるリーダー研修会に向けて、佐伯区スポーツ推進委員約30名が参加し、「インドアモルック」の事前研修会を行いました。

本来であれば2年前に佐伯区スポーツ推進委員が講師としてリーダー研修を行う予定でしたが、新型コロナウィルスの影響で延期、延期となり現在に至ります。

そして、待ちに待つたリーダー研修の担当がようやく佐伯区に回ってきました。

## インドアモルック事前研修会

令和4年6月4日(土)  
佐伯区スポーツセンター小体育室  
五日市東学区 三代 秀和

令和4年6月4日(土)  
佐伯区スポーツセンター小体育室  
五日市東学区 三代 秀和

2年ぶりに開催されるリーダー研修会に向けて、佐伯区スポーツ推進委員約30名が参加し、「インドアモルック」の事前研修会を行いました。

本来であれば2年前に佐伯区スポーツ推進委員が講師としてリーダー研修を行う予定でしたが、新型コロナウィルスの影響で延期、延期となり現在に至ります。

そして、待ちに待つたリーダー研修の担当がようやく佐伯区に回ってきました。

2年ぶりに開催されるリーダー研修会に向けて、佐伯区スポーツ推進委員約30名が参加し、「インドアモルック」の事前研修会を行いました。

本来であれば2年前に佐伯区スポーツ推進委員が講師としてリーダー研修を行う予定でしたが、新型コロナウィルスの影響で延期、延期となり現在に至ります。

そして、待ちに待つたリーダー研修の担当がようやく佐伯区に回ってきました。



2年ぶりに開催されるリーダー研修会に向けて、佐伯区スポーツ推進委員約30名が参加し、「インドアモルック」の事前研修会を行いました。

本来であれば2年前に佐伯区スポーツ推進委員が講師としてリーダー研修を行う予定でしたが、新型コロナウィルスの影響で延期、延期となり現在に至ります。

そして、待ちに待つたリーダー研修の担当がようやく佐伯区に回ってきました。

2年ぶりに開催されるリーダー研修会に向けて、佐伯区スポーツ推進委員約30名が参加し、「インドアモルック」の事前研修会を行いました。

リーダー研修の当日は湯来体育館にて、バドミントンのコートサイズで体育館に3コート、屋外のグラウンドに3コートを設営して、研修者は2会場を行き来するスケジュールになります。予定では、70名のリーダーが参加され研修が行われます。最後に、現在もコロナ禍で閉塞感を感じている世の中ですが、今年は各種イベントの復活の兆しが見え始めています。佐伯区スポーツ推進委員も各種のイベントを成功させるために、企画・準備・運営に頑張っています。佐伯区から発信する一押しの「インドアモルック」に幸あれ。



## 広島市スポーツ推進委員リーダー研修会

令和4年6月12日(日)

佐伯区 湯来体育館  
五日市東学区 三代秀和

2年の延期を経て広島市スポーツ推進委員リーダー研修会が広島市佐伯区の湯来体育館で開催されました。

広島市の8区から総勢73名のリーダーが参加しての大規模な研修会となりました。

午前の部は、「健康推進講座(腸内環境編)」と題し(株)ヤクルト山陽の二宗真平様を講師に迎え行されました。

講座の前半は、ヤクルト健康教室「うんちは健康のバロメータ」と題して、①うんちを作る力②うんちを育てる力③うんちを出す力を、について学びました。この3つのうんち力を鍛えることで健康的な良いうんちがデザインでき、健康を手に入れられる、との内容でした。良いうんちは、水に浮かんで、匂いがキツくなく、黄土色、いきまことにすっと出るのが特徴だそうです。

固形分20%、水分80%の割合が理想的なうんちとのことです。腸内に悪玉菌が多いとニオイがきつくな



り、水分量が不足気味だと硬いうんちが出るそうです。乳酸菌飲料や発酵食から良い菌を摂取し、腸内細菌の餌となる食物繊維やオリゴ糖を摂取して、バランスの取れた食生活を心掛けることで良いうんちがで起き上がるそうです。そして、軽い運動の腸トレ体操(腹式呼吸、姿勢づくりなど)を行うことで、腸の周りの筋肉を鍛え、健康的なうんちと体ができ上ります。



講座の後半は、参加者全員でヨガマットを敷いて腸トレ体操をしました。仰向け状態で腹式呼吸をして、両膝を曲げて膝の皿に両手を当てて円を描くようにお腹の上で膝をくるくる回す運動などをして良い汗をかきました。おかげさまで腹筋が筋肉痛になりました。

豆知識ですが、小腸の長さは、日本人の平均で7mもあるそうです。講座の最後は、質問が多数飛び交いヤクルト健康教室は大盛況に終わりました。

午後の部は、佐伯区スポーツ推進委員による「モルックとインドアモルック」の実技研修会が行われました。

ルールの説明、デモンストレーション、質疑応答が行われた後に競技に入りました。各区3人から

詳細につきましては、佐伯区

スポーツ推進委員協議会までお気軽にお問い合わせください。



5人で1組のチーム編成で18チーム、9チームが体育館と運動場を交互に移動して三つどもえ戦を2試合しました。炎天下の下、屋外での競技は暑さで大変でしたが、50点ピッタリの得点をあげた勝利チームの歓声は、暑さを吹き飛ばすほどグラウンド全体に響き渡っていました。

また、屋内では直射日光は射さないものの、扇風機を動かして暑さ対策をしながらの研修でした。日陰での影響からか、どのチームも気持ちよく和気あいあいとして競技を楽しんでいました。午後の部も、参加者全員が笑顔満点で楽しまれ、最後の質疑応答では、各区で新しいスポーツとしてインドアモルックを広めたいと言う声が多数出ていて、午後の部も大盛況に終わりました。

このリーダー研修会は、素晴らしい講師の方々のおかげで、学びがあり楽しく有意義な一日であつたと思いま

# Let's enjoy stretch!!

ストレッチは筋肉の柔軟性を高め、関節の可動域を広げ、呼吸を整えたり、精神的な緊張を和らげる効果があると言われています。

今回は下半身を中心に行なうストレッチを紹介します。



無理せずにできる範囲で膝を曲げないように体を前屈する



片脚の甲を持ちゆっくりと膝を曲げる



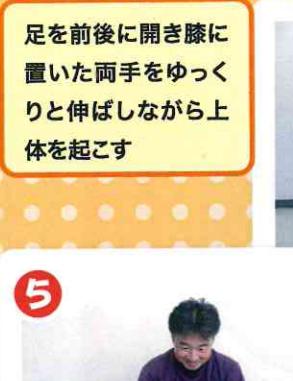
かかとを床につけ、体をゆっくり前に倒し、くらはぎ・アキレス腱を伸ばす



片足を軽く曲げ、足首を支え上方へゆっくり持ち上げる



片方の膝を立てて交差させ膝に手を置き外側へ軽く押す



足を前後に開き、膝に置いた両手をゆっくりと伸ばしながら上体を起こす



足裏を合わせてカエルのように広げる



片足を天井の方に向けモモ裏を伸ばす



片足を曲げ膝裏に手を入れて体に引き寄せる

ウォーキングなどの軽いウォーミングアップの後、ゆっくりと調節しながら伸びを感じてください。  
一部が効果部位です。時間は15秒～30秒前後

## 新時代の総合型 地域スポーツクラブのあり方

スポーツ推進委員に期待される役割

楽々園学区 下江 正志

### 『地域クラブの存在意義とその取り組み』

令和4年広島県スポーツ推進研究大会に参加して強く心に残ったことは、「地域クラブは必ず地域に密着しなければ生き残れない」という言葉でした。

講師の岡崎修司さん(広島ドラゴンフライズGM)は、チームが平成29年にプロスポーツ登録をして

以来6年間、「満員御礼と日本一」を目標に活動してきました。

具体的な活動として、平和都市広島にあるチームとして、平和を希求する使命から、Bリーグ45チームの協力の下に、ピースプロジェクト(おりづる編)を立ち上げ、「平和があるからこそそのスポーツ」という気持ちをみんなで共有する取り組みを始めました。また、佐伯区にバスケットボールスクールを立ち上げ、小・中学生の育成にも力を注いできました。この活動を通して、GMは企画と連絡調整の中心的役割を果たしていました。

地域のスポーツクラブの存在意義とは何か。「地域の活性化なくして地域クラブの存在意義はなし」とはつきり確信をもつて言い切つておられた姿が印象的でした。

楽々園学区では平成19年4月、体育指導員3名と



O Bが中心となり、体育協会の協力も得ながら設立して、16年目を迎えました。当初は、地域にある既存のスポーツ団体に声かけをして入会していただきました。また、クラブ独自のスポーツ大会を考え、地域の方々にスポーツの「楽しさ」や「喜び」を知つてもらう取り組みを推進してきました。

さらに、パンフレットを作成したり公民館だよりに掲載したりする啓発活動もしました。その結果、八つの活動グループが入会され、六つの独自の大会を開催することができました。活動費は、日本体育協会からの補助金と会費で運営することができました。

最近は、地域にある町内会、体育協会、学校、商工会やスポーツ団体などに協力していただき、それぞれの分野での豊富な経験や知識を生かす場を設定しながら、それぞれの関係者間で活発なコミュニケーションを行なうことを心掛けています。

この楽々園学区での取り組みは次号でさらに詳しく紹介します。

### 新任者紹介



五日市観音学区  
大内 みき

### 後記

元気ですかー！」と、いつも元気を与えてくれていたアントニオ猪木さんが先日亡くなられました。謹んでお悔やみ申し上げます。  
さて、今年度がスタートし、リーダー研修と広島地区研修会の実技指導で、佐伯区のスポーツ推進委員は大活躍でした。まだまだ中止になる行事も多いですが徐々に日常を取り戻しつつあります。油断せぬ健康に気を付けて頑張りましょう。  
元氣があれば何でもできる。  
いくぞー！ いちに、さん、ダーツ！！

### 退任者紹介



五日市観音学区  
重富 曜子



五日市学区  
佐藤 亜紀子

1期2年と短い間でしたが貴重な体験でした。これからも佐伯区スポーツ推進委員協議会のご発展を楽しみにしています。